

第6回松本市四賀地域公共交通協議会の開催結果について

1 日時

平成22年1月28日(月)
13時30分～15時00分

2 場所

四賀支所 大会議室

3 出席者

松本市四賀支所長 百瀬会長、長野国道出張所 近藤委員、松本建設事務所 米山委員、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員(代理西部)、松本市政策部長 中澤委員(代理寺沢)、松本市建設部長 丸山委員(代理丸山)、松本市市民環境部長 江平委員(代理牧垣)、四賀地区町会連合会 塩原委員、四賀地区町会連合会 平松委員、民生児童委員協議会 岩淵委員、会田中学校 古川委員、行政相談員 草田委員、松本警察署 西澤委員、松本地方事務所 竹淵委員(代理中村) 交通政策課 小林委員(代理犬飼)、長野運輸支局 千村委員

4 会議事項

- (1) 第5回協議会の開催結果について (原案どおり承認)
- (2) パブリックコメント(意見募集)の結果について (原案どおり承認)
- (3) 松本市四賀地域公共交通総合連携計画(案)について (原案どおり承認)
- (4) 国庫事業に係る事後評価について (原案どおり承認)
- (5) その他

5 会議で出された主な意見等

項目	意見等
パブリックコメント(意見募集)の結果について	<p>○協議会の委員がそれぞれの役割を果たすことが必要。提案されたものを受けて承認していくという進め方に疑問を感じる。委員としてもう少し議論をすべきではないか。</p> <p>○バスを使わない人が委員になっているため身近な問題として感じられない。町会としての意見を聞いてそれを協議会でまとめていくということが必要。</p> <p>⇒ 地域は地域、事業者は事業者、行政は行政というそれぞれの役割を果たすことが必要。また委員としての役割を果たしてもらうことも必要。</p>
松本市四賀地域公共交通総合連携計画(案)について	<p>○移動範囲をひろげる為にも、料金体系を含め、いろいろな視点で論議することが必要。</p>
国庫事業に係る事後評価について	<p>○公共交通を支えていくには、移動手段のある人も車からバスに乗り換えてもらうことが必要。これなら車で移動している人も使えるということ地域全体で考えていかなければいけない。</p> <p>○利用しないという前提で計画をたってもうまくいかない。公共交通を使うことが全く現実的でないという人が半分以上いる。これをどうするかということ。現実的でないものを計画しても利用されないだけである。</p>

	<p>○バス停から離れたところまで、地域として助け合うということも今後必要である。</p>
その他	<p>○フリー乗降についても検討する必要がある。 ⇒ 安全に乗降できることが必要。今後検討する。</p> <p>○帰りのバスが無いと言われるため、帰りをどうするかということについてアイデア募集をしてはどうか。 ⇒ 検討すべき課題ではある。住民から意見を聞く機会もあるので、そういうところでも出してもらえればと思う。</p>